

地域支える技術者に

秋田職能
短大 大

3科に27人が入校

大館市の秋田職業能力開発

短期大学校（中村雅英校長）

で3日、2025年度入校式が行われた。3科27人の新入生が地域を支える技術者を目指して、新たなスタートを切った。

本年度の新入生は生産技術科3人、電子情報技術科10人、住居環境科14人の計27人。このうち県内出身者は23人だった。

式では新入生一人一人の名前が読み上げられ、入校が許可された。中村校長は、同校の特徴について少人数制によるきめ細やかな指導や、グループで取り組む総合製作などを紹介。「ものづくりは一緒に働く人とのコミュニケーションなど、現場に起こる全てを含めた総合的な技術。常に分かるまで考える、できるまでやることを貫いて」と激励した。

来賓祝辞に続き、新入生を

代表して生産技術科の千葉大馬さん（大館桂桜高出身）が宣誓。「私たちはものづくり

のプロとして新たな一歩を踏み出した。技術と人格の向上に努め、立派な社会人となれるよう充実した学生生活を送ることを誓う」と決意を述べた。

.....
新入生を代表して宣誓する千葉さん（秋田職能短大）

